2025 年 10 月

栃木県テニス協会　理事長　吉井正光

TTA レポート（No.136）

今年の国民スポーツ大会は滋賀県で行われました。戦績は少年男子がベスト8入りを果たしました。表彰式に参加できる栄誉に恵まれたのは選手の頑張りとそれを支えた監督、スタッフ、そして応援をしていただいた方々のおかげです。只々感謝です。

前年のレポートでも書きましたが、「タイムアップの笛は、次の試合へのキックオフの笛である。」を念頭に選手強化はもう始まっています。

選手強化は言うに及びませんが、昨年の成年女子優勝、少年女子ベスト8に続き今年の少年男子ベスト8と連続して良い流れができてきているのは国スポ委員長を中心とした体制づくりが整ってきているのではないかと感じています。

この流れを維持していくには TTA が総力を挙げて取り組む事だと思います。

代表選手の強化が必須であることは明らかですが、代表候補となる選手の発掘や育成という面も忘れてはいけないと思います。

ジュニアの育成という面においては強化練習会を多く開催し有望選手の競技力向上を目指すと共に、テニスの楽しさに触れてもらい裾野を広げるためのイベントも必要ではないかと思います。

いっぽうでベテラン大会の盛り上がりには目を見張るものがあります。本県で行われている関東オープンのベテラン大会では 80 歳、85 歳といったクラスに多数の選手がエントリーし生涯スポーツを体現しています。来年は 90 歳のクラスが開催される予定です。

県内においてはジュニアから一般、ベテランに至るまで一貫した選手の流れができて県全体としての盛り上がりが見られたら素晴らしいことだと思います。

テニスを通じて健康と喜びが得られるテニス環境を整えるのが栃木県テニス協会の存在意義と言えるのではないかと思い活動していきたいです。